

第23回青年対策交流集会に参加して

北海道地方本部釧路支部 工藤恭平

この度、3年ぶりとなる第23回青年対策交流集会に参加させていただきました。

オルグ、講演、分散会を通して改めて人と人との繋がり、面と向かって話をする大切さを実感致しましたが、その事を組合員、若い世代に伝える難しさも感じました。全港湾の歴史を勉強させて頂き、今私達がいる場所は先輩方の活動と闘いによってあることを忘れてはならない、慢心してはいけない、伝えていかなければいけないのだと実感しました。

また、福島連帯キャラバンを控え、今一度『原子力』『原発』の恐ろしさを勉強させて頂きました。原子力の平和的利用とは言え、原子力の怖さは日本が一番よくわかっているはずなのですが、それを何もなかったかのようにする政府や報道させない実態、風化を促しているような状況を作り出し、各地で原発再稼働の動きがある事を知らなければならないですし、広めていかなければならないと思いました。3日間という短い時間ではありましたが北海道が離れているとはいえ、色々と意見交換を行い、時には笑いもあり、共感できる仲間がいるというだけで力になると改めて感じさせていただきました。この港湾産業は日本の最前線であり国民の生活の礎であることを胸にこれからの組合活動、青年部を盛り上げ魅力ある港湾を目指し日々精進させていただきます。共に頑張っていきましょう！！